

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。
研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

ビタミンE固定化ヘモダイアフィルタにおけるRDW変化について

2. 研究の対象患者

2025年11月時点の当院維持透析患者さんの中から、前希釈オンラインHDFを施行し1年以上同一のヘモダイアフィルタ (V-RA、FIX-S、NVF-H) を継続使用している患者さん

・ 選択基準

以下の基準を全て満たす患者さんを対象とする

- 1) 2025年11月時点で1年以上同一のヘモダイアフィルタを使用している患者さん
- 2) 20歳以上の患者さん
- 3) 性別不問

・ 除外基準

以下のいずれかに抵触する患者さんは本研究に組み入れないこととする

- 1) 血液浄化法が前希釈OHDF以外の患者さん

3. 研究の対象期間

2024年10月1日～2026年5月31日

4. 研究の概要

抗酸化作用をもつビタミンEを固定化した血液浄化器が、血液透析患者の貧血管理に有用であることが国内のランダム化比較試験で示されている。酸化ストレスにより赤血球細胞膜の脆弱性が生じ、赤血球の形態異常、赤血球寿命の短縮を招くが、ビタミンE固定化膜は、酸化ストレスの軽減により、赤血球膜が安定化することで赤血球形態異常を改善させ、赤血球寿命を延長させると考えられている。これをふまえると、赤血球形態異常の指標である赤血球容積分布幅 (RDW) をビタミンE固定化膜の血液浄化器を用いることで改善させる可能性がある。そこでビタミンE固定化膜ヘモダイアフィルタV-RAのRDW改善効果について後ろ向きに検討する。

5. 研究実施予定期間

2026年3月18日～2026年6月30日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

〔研究対象者背景〕：生年月日、年齢、性別、身長、体重、原疾患、合併症、診断名、ESA投与量、ERI

〔血液学的検査〕：Hb、MCV、RDW

〔血液生化学的検査〕：Fe、UIBC、フェリチン、ALB

7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後ろ向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究結果を研究対象者(又は代諾者)個々に開示することはありません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申下下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方に

ご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・研究責任者： 透析センター 石見徹太

・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)